

edol トーンダウンガイド表参考例



■ 自然な仕上がり：アンダーカラーを計算したコントロール

〈希望の明度〉

		13	11	9	7
〈現在の明度〉	Y 17	Be-9 3 : 1	B-9+Be-9 3 : 1	ビグメンテーション (Be-9) で 15レベルにコントロール	ビグメンテーション (B-9+Be-9) で 13レベルにコントロール
	YO 15	2%	B-11 3 : 1	B-9 3 : 1	ビグメンテーション (B-9+Be-9) で 13レベルにコントロール
	O 13	4%	2%	B-9 4 : 1	B-7 4 : 1
	RO 11		4%	2%	B-7 4 : 1
	RO 9			4%	2%

※ B-9+Be-9の比率は1:1です。
※オキシ4%は6%+2% (1:1)です。

- 表中の比率は、[希望色 (希望の明度): B (または Be)] を表しています。
- オキシは、トーンキープ時は4%、トーンダウン時は2%を使用します。
- 17、15レベルからトーンダウンする場合、希望の明度より1～2レベル濃い薬剤を使用しましょう。
- ダメージ毛 (縮毛矯正毛など) は毛先が沈み込む場合があります。その場合は、1～2レベル明るい薬剤を使用しましょう。

ビグメンテーション： オキシは2%を使用し、15分自然放置して洗い流します。
ドライ後、[希望色 (希望の明度): B (または Be)] でカラーリングします。(比率は表を参照)

■ 色みが強調された仕上がり：染料の濃度でコントロール

〈希望の明度〉

		13	11	9	7
〈現在の明度〉	Y 17	2%	2%	ビグメンテーション (Be-9) で 15レベルにコントロール	ビグメンテーション (B-9+Be-9) で 13レベルにコントロール
	YO 15		2%	2%	ビグメンテーション (B-9+Be-9) で 13レベルにコントロール
	O 13			2%	2%
	RO 11				2%
	RO 9				

※ B-9+Be-9の比率は1:1です。

- オキシは、基本的に2%を使用します。
- 17、15レベルからトーンダウンする場合、希望の明度より1～2レベル濃い薬剤を使用しましょう。
- ダメージ毛 (縮毛矯正毛など) は毛先が沈み込む場合があります。その場合は、1～2レベル明るい薬剤を使用しましょう。
- 既染部の明るさが希望の明度より5レベル以上明るい場合、毛髪の状態によっては根元のつながりが悪くなる場合があります。事前にストランドテストで確認しましょう。

■ 基本プロセス

6%が1番赤味を削ります。

最低15分以上は放置。

毛先がハイダメージの場合は必ず時間差での塗布をしないと**毛先の沈み込み**が発生します。

エドルの1剤と2剤が**セット**でなければ**フェオメラニン**に**アタック**しません。



edol Attention Point



■ エドルについて3つの特徴

- ①薬剤が**全て紫色**です。低明度の剤ほど補色のバイオレットが多く配合されています。
- ②9Lvと11Lvの染料濃度をチャートで確認しましょう。11Lvを使用する際は**補色が必要な場合と単品のみに**で可能な場合があるためアンダーカラーの見極めをお願いします。
- ③**アニオン性**を持つオイル成分(シナジーオイル処方)によりトリートメント吸着の土台を形成します。

base color

B brown

寒色系のブラウン。
単品でもアッシュブラウン系になります。

Be beige

暖色系のブラウン。
ハイトーンでのトーンダウンでは必須カラー。
Be9がキーカラー

Gr grege

他にはない色味。
ハイダメージ毛に**Gr11**を塗布すると**マツト**になる可能性があるためハイダメージ毛には**V11**を配合しましょう。
Gr11+V11=3+1がおすすめです。(ハイダメージ毛の場合)

shade color

A ash

ナチュラルカラーの際に赤味、オレンジ味を1番キャンセルするのは**A7**です。
赤味が強い方でも**A9**以上を使用すると消しきれない時があります。アンダーカラーの見極めが必要です。
黄味が出やすい方に**A11**を塗布するとマツトになる可能性があるため**補色のVまたはB**を配合して下さい。

V violet

V7、V9⇒青味系のバイオレット。ナチュラルカラーの補色の際は10~20%配合がおすすめです。
V11 ⇒赤味系のバイオレット。ハイトーンカラーの補色で活用は20~30%配合がおすすめです。

P pink

15分未満でアッシュ系。15分以上で灰味(赤味を削っている証拠)。20分以上でピンクがでできます。
赤味が強い方にはバイオレットの配合をおすすめします。(例:P9+V9=4+1)
注意:アッシュを混ぜるとピンクが負けて仕上がりの色がアッシュ系に変化してしまいます。

primary color

R red

O orange

V violet

M matt

A ash

P pink

7~9Lvのリストカがあります。M,Aは非常に濃いため5~10%の配合をおすすめします。

重要

- ・Gr15使用時オキシ2倍。LT-EX使用時オキシ3倍。残りの薬剤は等倍溶き。
- ・アンダカラーと髪質の見極め(ダメージレベル)が重要です。
- ・薬剤が紫味のためカラーチェックの際は薬剤を剥ぎ取った後、光に透かして明度と彩度のチェックを行って下さい。
- ・オキシ4%を作る際は6%+2%=1+1です。